



プラグ・アンド・プレイでSOAを実現！
280種類以上のアダプタ・ラインナップ

プロダクト ハイライト

- iWayとInterstageの連携によりTCOを最小にします。
- インターフェイスのためのカスタムコードをほとんど必要とせずに280種類以上のアプリケーションパッケージ、データソース、ミドルウェア技術e-ビジネスフォーマットとプロトコルにアクセスできます。
- InterstageとXMLの技術習得により、どのような情報システムあるいはビジネスプロセスでも利用することができます。
- 開発サイクルを短縮し、技術者が習得するインターフェースの数を少なくすることにより教育コストを減らすことが可能です。
- アプリケーションとレガシー・システムの複雑さを排除し、システム統合のコストを削減します。
- iWayはその他のJ2EE、.NET環境でも利用可能です。

**Fujitsu
Interstage**

Interstageで利用可能な280種類以上のiWay Adapter

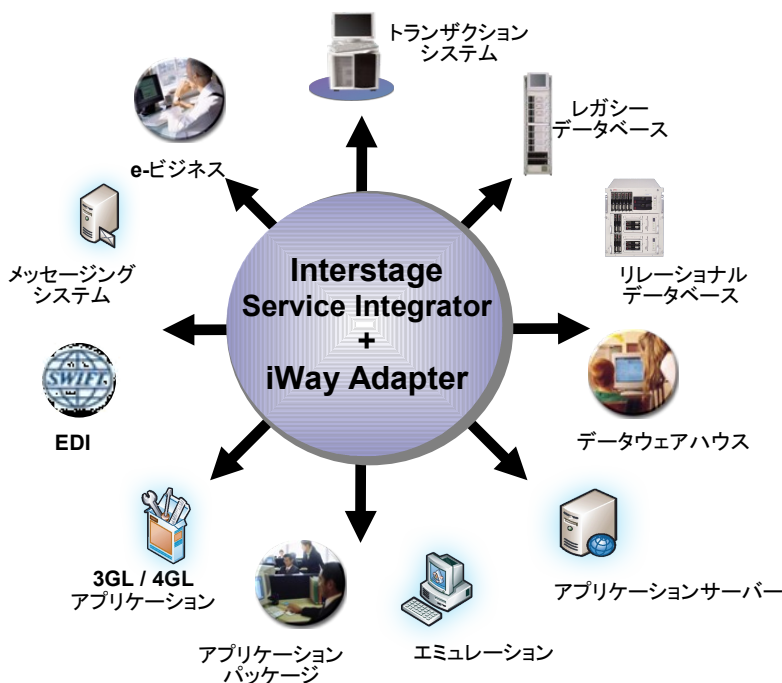
アイウェイ・ソフトウェア社の提供するiWay intelligent Adapters for Interstageにより、顧客企業の複数のシステムやレガシー・システムを容易に統合することが可能となります。アイウェイ・ソフトウェア社は、アプリケーションパッケージやレガシー・システム、EDIシステムを統合するために280種類以上のアダプタを提供しています。これらのアダプタとInterstageを組み合わせることで、企業内外のさまざまなデータ資産を迅速に統合することが可能となります。つまり、顧客企業のシステムの統合において容易で、かつ費用対効果の高い解決策を提示します。Interstageを利用する顧客企業はiWayを利用することにより、既存のレガシー・システムのアプリケーションや様々なアプリケーション・パッケージ等をInterstageと相互に連携することができます。

Interstage Service Integrator との融合

Interstage Service Integratorは、SOAに基づく柔軟なシステム構築を支えるエンタープライズ・サービスバスを提供します。ITシステムをサービスの集まりととらえるSOAの考え方にもとづき、サービスを組み合わせたシステムを構築すると共に、フロントアプリケーションの生産性向上を実現し、生産性・保守性を高め、ビジネスの変化に迅速に対応できるシステム構築を支援します。「リポジトリとの連携による資産管理の効率化」、「構築、運用、保守の容易化」、「.NET Framework対応の強化」、「標準ベースの採用と既存技術の継承」、「高信頼性機能」などが特徴です。

iWayアダプタはInterstageに対して、メタデータ・リポジトリが必要とするさまざまな情報をXMLスキーマとして提供します。企業情報システム(EIS)やデータベース、アプリケーションへ接続するために必要なフォーマットやAPIへの自動変換はiWayが行います。これにより、従来はシステム固有のAPIや特殊言語でしかアクセス出来なかったシステムに対してノーコーディングでのアクセスを実現します。また、iWay製品は、JCA、XML、Webサービス等の標準技術を幅広く採用しているため、Interstageをはじめ、さまざまなJ2EE、ESB、EAI環境でご利用いただくことができます。

iWayが提供する各種アダプタ群



280以上のシステムをサポート

iWayは、Interstageから企業の情報システムにアクセスするための280を超えるアダプタを提供します。

アプリケーションパッケージ

- SAP
- OracleEBS
- Siebel
- PeopleSoft
- Ariba
- Baan
- J.D.Edwards
- Lawson
- Clarify

e-ビジネス フォーマット

- SWIFT
- FIX
- HIPAA
- ACORD
- ebXML
- OAG BOD's
- AS1, AS2
- EDIFACT
- ANSI X12I

レガシーデータベースシステム

- Adabas
- DB2
- IMS
- QSAM
- VSAM
- Datacom
- Teradata

リレーショナルデータベース

- Oracle
- MS SQL Server
- Informix
- Sybase

トランザクション環境

- CICS
- IMS/TM
- Tuxedo

OS

- メインフレーム
- ミッドレンジ
- UNIX
- PC OS

メッセージング製品

- Sonic MQ
- Oracle AQ
- WebSphere MQ
- JMS

その他

iWay Adapterにより提供される機能

アプリケーション・パッケージのサポート

iWayアプリケーション・アダプタにより、InterstageシステムからSAP、OracleEBS、PeopleSoft、J.D.Edwards、Siebel等の他のアプリケーション・パッケージへの接続が可能になります。iWayアダプタにより、ユーザーはアプリケーション・システム毎に異なるインターフェイス仕様を習得する必要なく、業界標準のXMLやBPMテクノロジーにより各システムへのアクセスが可能になります。

レガシーシステムの利便性を向上

多くの企業は、企業資産としてのデータをレガシー・システム上に持っています。しかし、それらデータへのアクセスは一般的に難題とされています。それは、これらのシステムがオープン指向で設計されておらず、データを管理しているアプリケーション開発者のみに理解可能なAPIで開発されていたからです。これらのシステムのほとんどは、データ処理の標準言語SQLの登場以前に開発されました。iWayアダプタは、様々なプラットフォーム上の階層型、ネットワーク型、フラット型、その他の構造のレガシーシステムのデータに対して、XMLやSQLを通してのアクセスを実現します。

e-ビジネス・トランザクションの自動化

iWay e-ビジネス・アダプタは、ドキュメントの自動受信、検査、標準XMLへの変換を行い、Interstageシステムへ受け渡しを行います。また、Interstageシステムにより生成されたe-ビジネス・ドキュメントを取引先企業と接続するための機能も提供します。AS1、AS2、ANSI X12、EDIFACT、FIX、HIPAA、HL7、SWIFT、UCCnet等のe-ビジネス・アダプタにより、様々な対外接続を実現可能とします。

リレーショナル・データの標準化

レガシーシステムをリレーショナル・データベースのように扱うだけでは十分ではありません。リレーショナル・データベースでさえ、それぞれの互換性がないとされています。アウターJoinの処理、日付・時間フォーマットの違い、チューニングに関する留意点、リターンコードの違いなど、様々な違いが存在します。iWayアダプタは、ANSI標準SQLを使用することにより、リレーショナル・データベースの違いまでも吸収することができます。iWay非リレーショナル・データベース・アダプタは、SQL文を非リレーショナル・データにアクセスする際のネイティブCallに変換します。また、iWayリレーショナル・データベース・アダプタは、ANSI標準SQLをそれぞれの仕様に合わせて自動変換することも行います。